

令和4年度 事業所向け児童発達支援評価表

ハッピーテラスキッズ中野ルーム

集計日：令和4年12月13日

	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		指導訓練室は、29.7㎡あり、施設基準の一人当たり2.47㎡を満たしております。また、見学席もモニターを新しいものに変更するなどの改善しております。	限られているスペースで十分な支援が行えるよう、事前にどのように空間を使うかスタッフ間で話し合ったうえでレッスンに臨んでまいります。
②職員の配置数は適切であるか	○		スタッフの充足に加え、その専門性を高められるように教育体制強化を計画的に行っております。	法定で定められた人員の確保は行っております。またレッスンの内容などにより加配を適宜配置しております。
③生活空間は、児童に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害特性に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		フラットな床、視覚情報の少ない空間になっており、実際に車いす利用のお子様も受け入れております。	車いす利用のお子さまの受け入れの際、雨の場合のタイヤの清掃等をよりスムーズに行えるような環境を整えてまいります。
④生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		机やいすの高さをお子さまに合わせて調整し、常に清潔な環境が保たれるよう意識しております。	昨年度に引き続き、感染症対策として、適宜次亜塩素酸ナトリウムでの清掃を実施しております。
⑤業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		支援計画の作成、更新時にはケース会議を開催し、スタッフそれぞれの視点から目標設定について意見をもらうよう努めております。	今年度アセスメントを行っておりますが、継続して行えるような明確な期間を設定してまいります。
⑥保護者等向け評価表（アンケート）により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		SMS（ショートメッセージサービス）を利用し、一人でも多くの保護者の方の声を拾うため、アンケート回答率の強化に努めております。	アンケート後の改善のサイクルをより強化できるよう、いつまでに改善をするか等の目標を具体的に立て、全スタッフが意識できる環境を整備してまいります。
⑦事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともにその結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページ上に公開されており、結果を保護者の方にも通知しております。	教室内で、自己評価及び保護者の方向け評価表の結果についてフィードバックをしております。また、毎年2月にホームページに公表しております。
⑧第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		令和元年度と今年度、第三者評価を受審しております。	受審結果について保護者の方にも周知し、よりよいサービスの向上の資料として使用してまいります。
⑨職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		スタッフ間での研修、区での研修参加、スタッフ持ち回りで研修等実施しているほか、社内研修なども実施しております。	毎月持ち回りでスタッフ研修を実施。また、区など外部で開催の研修についても適宜参加しております。
⑩アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画等を作成しているか	○		毎月ケース会議を開催し、教室スタッフ全員の視点を共有しております。	今年度一斉にアセスメントを行っております。継続して行えるよう明確な期間を設定できるように努めてまいります。

⑪子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		体験時にアセスメントシートを利用し、今年度11月に一斉にアセスメントを取っております。	標準化されたアセスメントツールの質の向上を目指し、期間を明確に決めて取る形を検討してまいります。
⑫児童発達支援計画等には、ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	○		就学相談や家庭での過ごし方、保育園・幼稚園との訪問連携など、保護者方の困りごと相談ごとに支援を行っております。	今後は園連携をより多く使用していく環境設定を整え、面談時・契約時に話をできるように努めてまいります。
⑬児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		定期的に支援計画について評価を行っております。	個別支援計画について、スタッフ全員が共通認識を持ったうえで支援に当たることができておりません。今後の課題として検討してまいります。
⑭活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		集団レッスンに関しては、年間計画に沿った支援、個別レッスンについては適宜スタッフ間で共有する時間を設けております。	毎年実施している集団プログラムの年間計画の質をより高められるよう会議時間を明確に設けてまいります。
⑮活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○		3～6か月に1度支援計画の見直しを行い、支援の内容についてもケース会議で精査しております。	お子さまの興味関心が途切れない内容を工夫し、スタッフ間の共有を適宜行えているため、今後もその時間を大切に支援してまいります。
⑯子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成しているか	○		それぞれのアセスメントや課題をもとに、集団・個別レッスンを必要に応じて織り交ぜながら活動に参加できるように努めております。	CSアンケート等で支援の効果も感じられている利用者の方をより多く獲得できるように今後もプログラムの質の向上に努めてまいります。
⑰支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		集団レッスン前の10分間授業共有時間を設けています。個別レッスンであっても内容の共有は可能な限り行っております。	お子さまの利用曜日が固定されることにより、共有がおろそかになることもあるので、常に気を引き締めて業務にあたるように努めてまいります。
⑱支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点などを共有しているか	○		レッスン終了後その都度、支援日誌等で共有を行っております。	その日のレッスンはその日のうちに書き終えるように努めております。
⑲日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		社内システム等を活用し、適切に記録、評価を実践しております。	支援日誌に詳細を記入し、改善点を明らかにしております。
⑳定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		3か月から6か月に一度の支援計画の見直し前にケース会議を開催し、支援についての評価を行っております。	3か月から6か月に一度の支援計画の見直し前にケース会議を開催し、支援についての評価を必ず行っております。
㉑障害児通所支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		どのスタッフでも参加ができるような環境を整えられるようにしております。	感染症対策により会議の開催がされていませんが、相談支援事業所へ、短信や支援計画を共有しております。

㉔母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		ニーズがあれば対応しております。	区立の児童発達支援センターや基幹センターなどと情報の共有をしております。
㉕移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の方からの要望に合わせ、幼稚園、保育園への訪問や課題の共有を適宜行っております。	未就学期の園等とは連携が取れておりますが、今後就学予定先とも連携が取れるように努めてまいります。
㉖移行支援として、小学校や特別支援学校（初等部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	必要に応じて、就学支援シートなどの記入などに取り組んでおります。	小学校との共有は就学支援シートの共有のみとなっております。
㉗他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じて、おさまが利用している他事業所等と連絡調整を行っております。	今年度2回センターと連携を取っているものの、専門家から意見をもらう機会が確立できていない為、今後の課題となっております。
㉘保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	事業所として交流会等は行っておりませんが、園に通うことについての相談の中で情報提供をしております。	当事業所を利用されているおさまは、多くが保育園、幼稚園へ通園しているため事業所としての交流の機会は設けてはおりません。
㉙協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	今年度は機会が無く、参加することができておりません。 おさま・ご家庭の状況に応じて参加したいと考えております。	児童発達支援においては、協議会の連絡会等の開催は実施されていないため、今後は地域交流を継続的にできるよう考えてまいります。
㉚日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		利用後のフィードバックの時間を大事にしております。それ以外でも、適宜保護者の方とおさまの様子を共有するよう努めております。	フィードバックや面談、保護者懇談会などで課題の共有などを行い、レッスンの内容に組み込んでおります。
㉛保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		自宅での過ごし方などへのアドバイスや、レスパイト的な受け入れを実施しているが、実践的なものは実施できておりません。	親子レッスンの実施はありませんが、問い合わせは積極的に受け入れができるように努めております。
㉜運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時、また適宜説明をしております。	契約時に詳細の説明をおこなうとともに、教室内でいつでも閲覧できるようにしております。
㉝児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		契約時、更新時に支援計画についての説明を必ず行っております。	保護者ヒアリングのもと、作成ができるように面談を必ず実施をしております。印鑑がない等で印鑑を押す日までに期間が空いてしまうことが課題です。
㉞定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的に、保護者の方からの相談について共有をし、適宜幼稚園、保育園への訪問を実施しております。	園連携の要望が非常に多いので、面談で促し等、全家庭で実施ができる環境を作っております。

③⑨父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		就学に向けた、保護者懇談会や年中保護者を対象にした懇談会も実施しております。	保護者の方同士の関わりをより作っていただけるイベントや会の実施が今後の課題と考えております。
④⑩子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		感染症や、苦情・虐待対策として必要な体制を整備するとともに、契約時や事業所内の掲示などでアナウンスしております。	新入社員が入ってくるタイミングで共通理解を高められる取り組みを行ってまいります。
④⑪定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		ハッピー通信を刊行しホームページに掲載しております。また、SMSにて保護者の方へ共有しております。	今後、子ども向けの会報の準備を進めてまいります。
④⑫個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報、全て同じ書庫に鍵をかけ保管しております。また、データの保存などについてもサーバー管理の徹底を心掛けております。	スタッフの意識を常に高い状態で保てるような意識を高めてまいります。
④⑬障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚支援などを使いながら伝わりやすい方法で意思の疎通を図るようにしております。	保護者の方に応じてメール対応をおこなう等も実施しております。今後も臨機応変な対応を心掛けてまいります。
④⑭事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	○	地域の町内会に所属はしております。コロナの影響で、現状地域活動等への参加は出来ておりません。	今年度も参加ができなかったため、どのように参加していくか具体的な案を考えてまいります。
④⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルはありますが、保護者の方への周知はできておりません。	保護者周知が出来ておりません。訓練は例年行っていますが、保護者の方にもご参加いただく形では今年度もできておりません。
④⑯非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		レッスンに盛り込んだ形で避難訓練を実施しております。	数年前に救命講習を行いました。数年期間が空いているので実施に向けて考えてまいります。
④⑰事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		緊急連絡票に記載、体験の時点で確認するよう徹底しております。	アレルギー等を含め詳細について記載してもらっておりますが、一覧表の作成ができていないので作成してまいります。
④⑱食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			重篤なアレルギーを持つお子さまがいないので指示書までいただいております。	レッスン中の飲食等は行っていないため、医師の意見書等の共有はされております。現状緊急連絡票への記載のみの情報となっております。
④⑲ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		年度末に一年間のヒヤリハットについて教室会議で検討を行っております。	ヒヤリの件数が少ないため、目標を掲げて事例集を作成し、怪我や事故の防止に努めてまいります。
④⑳虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に研修等を実施して所感を残しております。	新入社員が入ってくるタイミングで共通理解を高められる取り組みを行ってまいります。
④㉑どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		身体拘束の方法や頻度についても保護者の方に相談し、保護者の方に対し十分な理解を得られるよう努めております。	定期的なケース会議を実施し、身体拘束の必要性などについて教室内で協議を行っております。